

臨床研究へのご協力をお願い

「生体共焦点顕微鏡を用いた角膜の観察」へのご協力をお願い

角膜の病気（角膜感染症、角膜形状異常、角膜上皮疾患、角膜実質疾患、角膜内皮疾患、免疫疾患、外傷、コンタクトレンズ障害）がある、もしくはその疑いがある方、当科を受診された方、角膜手術を受けられた方へ

1. 研究の意義と目的

当科では、患者さんが受診されるときに検査の一つとして、細隙灯（さいげきとう）顕微鏡を用いて角膜組織を診察しています。今回の研究では、より詳しく細胞レベルでの観察が可能な生体共焦点顕微鏡を用いて診察します。

通常より詳しく角膜を観察して解析を行うことを目的としており、将来的には病状の解明や新規治療法の開発へとつながることを期待しています。

2. 研究の方法

生体共焦点顕微鏡を用いて角膜を観察し、細胞密度や細胞形態、血管との位置関係などについて詳細に検証を行います。目に接触して行う検査であるため、接触する部分に眼球保護材を使用して、眼球を保護します。万一、上皮障害が発生した場合には、タリビッド眼軟膏やクラビット点眼液にて感染予防を行ったうえで、上皮が治癒するまでは本検査を行わないこととします。

3. 個人情報の取り扱いについて

通常の外来検査機器と同様に、検査機器内には匿名化は行われずにデータが残りますが、外来に施錠を行い、コンピューターはネットワークから切り離すなどして個人情報の保護を図ります。研究終了後は、個人を特定できないようにした上で、研究成果を学会や学術雑誌等で公表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。研究への参加を希望されない場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

お問い合わせ・連絡先

大阪大学医学系研究科眼科学（大阪大学医学部附属病院 眼科）

氏名：大家義則

TEL：06-6879-3456